

# 会 議 録

会 議 名	第1回知立市総合公共交通会議
日 時	平成30年 5月18日(金) 午前10時00分～11時30分
場 所	知立市役所 第2・3会議室
次 第	<p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項 (1) ミニバスの利用状況について 【資料1-1～1-5】</p> <p>4.協議事項 (1) 知立市地域公共交通網形成計画策定スケジュールについて 【資料2】</p> <p>5.その他 (1) 乗り換えアプリ(NAVITIME)への登録について 【参考資料1】</p> <p>6.閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、委員名簿、座席表</li> <li>・会議説明資料(資料1-1～1-5、2、参考資料1)</li> <li>・当日配布資料(知立市立地適正計画概要版・活発で良い議論ができる会議のために)</li> </ul>
出 席 者	<p>【委員】 山崎委員((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>古田(小林)委員((公社)愛知県バス協会専務理事)</p> <p>植田委員(愛知県タクシー協会理事)</p> <p>近藤委員(名鉄バス(株)運輸本部副部長兼計画部長兼計画課長)</p> <p>荒川(田浦)委員(愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員(知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>堀委員(知立老人クラブ連合会会長)</p> <p>毛受委員(知立市商工会女性部長)</p> <p>櫻井委員(公募市民)</p> <p>二輪(廣瀬)委員(中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>榊原(塚崎)委員(愛知県振興部交通対策課主幹)</p> <p>鈴木委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>尾崎委員(知立市都市整備部長)</p> <p>近藤委員(知立市土木課長)</p> <p>( ) 氏名は代理出席者</p>
欠 席 者	<p>河合委員(名古屋鉄道(株)東部支配人室営業総務課長)</p> <p>安井委員(区長会会計)</p> <p>夏目委員(愛知県安城警察署交通課長)</p>

## 内容（概要）

### 1.開会

（司 会） 定刻となりましたので、ただいまより平成 30 年度第 1 回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は 14 名、全委員 17 名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。

本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、カラー刷りのミニバスガイド、知立市立地適正化計画概要版、活発で良い議論ができる会議のために、事前に送付させていただきましたホッチキス止めになっている「平成 30 年度第 1 回知立市総合公共交通会議資料」、「NAVITIME」に関する資料の以上となります。

それでは、事務局を代表しまして、林市長よりご挨拶申し上げます。

### 2.あいさつ

（市 長） 失礼いたします。本日はご多用の中、第 1 回になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

—中略—

持続可能な公共交通網を形成していくという考えの中、今年度は「公共交通網形成計画」を皆様方の議論のもと策定していただきたいと思います。忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。

ミニバスは年間約 29 万人の方にご利用いただくようになりました。非常に多くの方にミニバスをご利用いただいております。昨年 10 月 1 日からは市内在住の 75 歳以上の方に対してミニバスの無料化事業を実施させていただいているところでございます。さらに乗ったことのないような方々も乗っていただければと思います。併せて本年 4 月からは利用者が一番多いイエローコースの車両を小型バスから中型バスへ変更しました。利用者が多いため、立って乗車される方もいるなかで、座席数が 11 席から 24 席に増えたことによって座りやすくなりご利用しやすくなりました。これからも交通安全対策としても、地球環境に優しい取組としても公共交通を普及させていくことが重要であります。福祉的な視点においても、ミニバスは大きな効果が出てくるものだと考えています。様々な視点でミニバスがよりご利用しやすくなるように努めていきたいと思っておりますので、本日もご意見、ご指導、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

（司 会） ありがとうございました。ここで委員の皆様のご紹介をさせていただきます。総合公共交通会議の委員任期は 2 年であるなか、現在 1 年が経過しています。人事異動等で新たに委員になられた方もみえますので、お配りした委員名簿の順番に沿って自己紹介をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

(委員) 【委員の自己紹介】

(司会) 皆様ありがとうございました。事務局の職員については昨年に引き続きまちづくり課長補佐兼まちづくり推進係長池田と稲垣主事になります。最後に本日進行を務めさせていただきます天野と申します。前任の八重樫課長の後任として4月から着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議では、ミニバスの利用状況についての報告と、協議事項として知立市地域公共交通網形成計画策定スケジュールについてのご審議をお願いいたします。市民の皆様にとりましてより便利なミニバスが運行できるよう委員の皆様方にはさらに協議を重ねていただきたいと思いますと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。会議に先立ちまして、愛知運輸支局廣瀬様から、本日配布させていただきました「活発で良い議論ができる会議のために」の冊子にて公共交通会議の意義についてお話をいただきます。よろしくお願いいたします。

(委員) 配布させていただきました資料についてですが、毎年度第1回目の交通会議でお配りさせていただいているものになります。今年度初めての交通会議であることや新たに就任された委員の方もいらっしゃるの、改めてご説明させていただきます。

1ページ開いていただくと、「全国の地域公共交通がいま、大ピンチです！」と記載があります。地方部ではバスの路線が減少している中、地域の公共交通を守っていくには、会議で協議を重ねる必要があります。様々な役割から出席されている方もいますので、3ページをご覧ください。「会議の参加者とその役割」ということで、色々な方々がどういった役割で出席しているかという説明があります。例えば、住民代表の方ですと、利用者の目線や住民の目線で色んな意見を言っていたり、それぞれの役割について書いてありますので参考にさせていただいて、活発な議論が展開されればと思います。初めての方もいらっしゃると思うので、発言をされるのに躊躇するかもしれませんが、思ったことを発言いただいて良い会議を作りあげていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(司会) ありがとうございました。ここからの議事進行につきましては、議長の山崎会長に交代させていただきます。

### 3.報告事項

(議長) それでは、お手元の次第をご覧ください。本日の議題としては3点あります。報告事項として「ミニバスの利用状況について」、協議事項として「知立市地域公共交通網形成計画策定スケジュールについて」、最後に「NAVITIMEへの登録」についてのお話がございます。

それでは、報告事項(1)ミニバスの利用状況についてということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1-1～1-5に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。昨年度の前半においては減少していましたが、最終的には昨年度を上回る利用者数になっていますね。便別の利用者数について、夕方の便が前年度の数字を上回っていましたが、こういった要因で上回ったか考えがありましたら、お願いします。

(事務局) 夕方の便が増加している要因についてですが、平成29年3月時点では高齢者の無料化事業は実施しておりません。一方で平成30年3月時点では高齢者の無料化事業が実施された後のデータとなります。その中で1・2・5コースは夕方の便における平均乗車人数の増加が目立ちます。それに引き換え3・4コースについてはあまり変わり映えがしていない印象を受けます。また、前年度の調査で乗車いただいている方の年齢層を確認させていただいており、3コースは東刈谷駅に通じているということもあって平均年齢が比較的若く、4コースについては、上重原を中心に通るルートになるのですが、60代の方の利用が多いという結果になっています。1・2・5コースは75歳以上の高齢者の利用が多くなっています。

このことを勘案しますと、高齢者の無料化事業によって、午後からお年寄りの方が買物等のお出かけが増えたのではないかと推測されます。

(議長) 高齢者の無料化事業によって、バスを利用する方が増えて、そういった方が買物等のお出かけをされているのではないかとということですね。一般的に午前中に乗る方は病院に行かれる方が多く、午後だと買物等の目的で動く方が多い印象があります。

(委員) 利用者数が伸びていることは喜ばしいことだと思います。当然、利用される方が増えるということは、バス停により多く停車するということになります。高齢者の方の増加や中型バスの導入によって、乗降にかかる時間等も増加します。実際に運転をしている中でそういった事を考えていくと、仕方がないことかもしれませんが、時間がどうしても多くかかってしまいます。私たちは確実にお客様が着席されるまで動きませんし、ドアも閉めません。またミニバスの乗車人数を記入するときに併せて遅延時間も記入していますが、大体が遅れています。暑い日や雨の日に待たれている人はとても大変だと感じます。

お客様に快適に利用していただくためには、時間にも気をつけていただく必要があると思います。例えば、4コースの欠藪の交差点やアピタ周辺が混雑しています。夕方になりますと、南陽通は狭い道であることや右折車両によって非常に混雑します。待っているお客様に負担をかけるのと同時に、運転手のお手洗いの時間も厳しくなってきます。遅延状況によっては、連続乗務を引き起こす可能性もあります。

ですから、乗降人数も大事ではありますが、運転しているドライバーが精神的に落ち着いて運転できるように環境作りをお願いしたいと思います。待っているお客様が長い時間を待たれないように、セクションを設けてもらおうと運転もお客様も効率良く回せると思います。以前、市役所のバス停でお叱りを受けたことがあります。「待っているけど

も、いつになったらバスは来るのか」と言われました。雨の日の朝のことで、そのお客様は1コースを待っておられました。私の運転していたコースは定刻に市役所に到着したのですが、そのお客様に5分程度お叱りを受けました。そういったこともありますので、両運行事業者と今後も協議いただいて良い方向になればと思います。

(議 長) ありがとうございます。きっちり時間通りに運転するのは難しいかもしれませんが、あまり遅延が多いと、時刻表と狂ってしまい良くはないですね。せっかく高齢者無料化事業によって利用者が増えてきたのに、渋滞による要因もあるかと思いますが、それがためにバスが遅れてしまうということで、今後の課題として考えていく必要があると思います。例えば、路線を拡大したとして、それが段々といっぱいいっぱいになり、あるところを超えるサービスを展開していくと、車両がもう一台必要になるだとか、運転手を増やさないとできない等の問題が発生し、費用が上がってしまいます。今後の課題として、網形成計画の中でも活かしていただきたいと思います。

(事務局) ご指摘いただきましたとおり、遅延状況については毎月報告をいただいております。まだ中型バスに変わって1ヶ月しか状況は出ていませんが、やはり遅延状況としては膨らんだ結果が出ています。その点も考慮して、今後もダイヤ改正を検討していきたいと思っております。

(市 長) 快適にご乗車いただくために、遅延に対して、お願い文のようなものを運転手さんの後ろ辺りやそれぞれの停留所に貼っておけないでしょうか。車椅子のお客様や高齢者の方など乗客に対してしっかりと座ったのを確認して運行していただいているように、丁寧にこなされているため、遅延が出るのもやむを得ないとも感じます。一般の方々もやむを得ないと思ってもらえるような表現でできるといいですね。

(議 長) 1つのやり方として利用される方にご理解をいただくといったやり方もあるかと思っております。ただ、あまり乗客に対して我慢もさせてはいけませんし、運転手さんにも安全第一で運行していただくため我慢をさせてはいけません。サービスを維持するためには運転手や車両を増やさないといけないという状況だとしたら、少し運行の頻度を下げるだとか、路線を短くすることも現実的には必要になってくると思います。ただそれで利用者が不便になってしまうこともありますし、バランスを取るのが難しいと思います。

(委 員) 3・4年前にダイヤを改正した際に、その当時の便数を確保するために、あるいは遅延時間を緩和するために、あえてバス停での待ち時間を設定しました。当時より道路状況が悪化してきていることや、たくさんの方が乗車されるため乗降に時間がかかっている状況があるかと思っております。ただ途中でダイヤ改正を行えないものですから、次回の改正の際は状況を見て、事業者さんとも協議しながら検討していきたいと思っております。申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

(議 長) 本当に問題だとなったときには、せつかくこういった会議の場があるものですから委託期間を問わず途中でダイヤ改正をしていっても良いかと思います。他にご意見・ご質問はありませんか。それでは、協議事項(1)「知立市地域公共交通網形成計画策定スケジュールについて」ということで事務局より説明をお願いします。

#### 4.協議事項

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。知立市地域公共交通網形成計画の策定スケジュールに関して、またその背景として都市計画、まちづくりに関して知立市立地適正化計画が策定されており、その概要の紹介もいただきました。昨年度は調査を実施し、その結果に基づいて課題整理を行いました。今年度は年度末に計画を策定するという目標でございます。スケジュールとしては、お話いただきましたとおり、夏までに基本方針とアクションプログラムを決定していくということです。

(委 員) 計画自体が見えてくるのは、第2・3回の会議の中で確認できますか。

(事務局) 第2回には叩き台となる素案を示さないと協議ができないと思っていますので、そこまで進めたいと考えています。そこで皆さんに見ていただき、精査したものを第3回の会議に挙げさせていただきたいと考えています。

(委 員) コンパクトな計画策定だと感じました。各委員の方との協議の回数を確保できるのか心配ではあります。

(事務局) ご指摘を受けた点については、こちらも心配している部分ではあります。現在は今年度の交通会議の回数を4回とさせていただいていますが、もう少し精査が必要だということであれば、今後この回数を増やしていくことも必要になってくると考えていますので、状況に対応しながら検討させていただきたいと思っています。

(議 長) そうしますと、第2回の会議をできるだけ早めに行う必要があるかもしれません。

(事務局) 現状は業者が決まっていませんので、決まり次第早急に協議をさせていただきながら、日程の調整もさせていただきたいと思っています。

(議 長) 他にご意見・ご質問はありませんか。この策定スケジュールや先ほどご報告いただいたことも含めて、市民として、市民の団体を代表して出席いただいている委員の方にとどのようなことでも結構ですので一言ずついただきたいと思っています。

(委 員) 私はミニバスには乗ったことがないので、分からないこともありますが、当協議会の

他の人が福祉体育館のバス停の位置について、坂道の先にバス停があることや雨の日だとバス停まで行くのが大変だと言っていました。もう少し体育館まで近い位置にバス停があるとありがたいです。

(議長) そういったご意見を普段から集めていただいて、計画の中でも今後の課題として参考になりますので、これからもご意見を出していただきたいと思います。

(委員) 昨年度からバスを利用するようになりましたが、10分ほどの遅延が生じると、もうバスが通りこしたのではないかと思ひ込むことがあります。市役所に用事がありますので、そのたびにどこかで時間の調整ができる箇所があると良いなと思います。遅延はどうしても発生するものですから、最初からそれを見込んだダイヤを組んで欲しいと思います。それとミニバスガイドを携帯していますが、市役所と市役所南、福祉体育館と福祉体育館南、それぞれの停留所で早くバスが到着するほうから乗っています。このように近いバス停の中だとどちらが早く目的地まで向かえるか分かるような表示があると分かりやすいと思います。乗ってみて初めてそういったことを感じました。

(議長) 実際に利用していただくと、具体的にこうした方が使いやすいというようなご意見が出てきますよね。事務局にもご指摘いただいた点に関して把握いただきたいと思います。

(委員) 都市計画とバスの利用状況において、知立駅前の開発が進むと、バスターミナルはどのようなになりますか。

(委員) 現状はバスについてはバス車両しか通れない箇所もありますが、バスやタクシーといった公共的な交通と一般的な交通は道路上、分けていません。新しい駅前の面積は現在の駅前よりも2倍ぐらいになります。広がり方としては、西のほうに広がっていくイメージです。線路の全体の幅が狭くなり、上に積んでいきますので、駅の幅自体も狭くなってきます。したがって線路側に駅前広場が広がっていくイメージになります。

使用としては一般の方のご送迎の車と公共的な車が乗り入れるロータリーと2つに分かれるロータリーをイメージしていますので、今より整理はしやすくなるかと思います。ただ、使いやすくなれば交通の利用者が増えていくことも考えられますので、これで十分ということではありませんが、2つのロータリーにして使い分けていくので、今よりは使いやすくなると思います。バスターミナルとしては、現状は広くはないバスターミナルではありますが、将来的には一般用と公共用でロータリーが分かりますので、ミニバスがこの辺り、名鉄バス、空港バスがこの辺りとすみ分けがしやすくなると思っています。

(委員) ありがとうございます。知立駅の工事が完了した際には、このような会議に出席していたにも関わらず、ミニバスの乗り場所が分からないと困るので質問させていただきました。楽しみにしています。

(委員) 先日、猿渡川のウォーキングをしてきました。その帰りはミニバスを使って帰ってきました。その際は私だけではなく、他の人も使えるように呼びかけました。他の市町にはバス停にあと何分でバスが到着するというような表示が出ているところも目にしました。全部のバス停にそういった表示を設置するのは難しいかと思いますが、一部のバス停には設置できれば良いと思います。バスを待っていて、定刻より10分も遅れていると、本当に来るのか心配になってきます。

(議長) ありがとうございます。今ご意見いただいたように、色んなご意見が出てきますよね。先ほど委員の方からご指摘のあったとおり、策定スケジュールがコンパクトではないかといったご意見もありましたが、それを踏まえてなるべく早めに基本方針とアクションプログラムを検討していただきたいですね。今いただいたようなご意見が今後も出てくるかもしれませんし、パブリックコメントにおいても様々な意見が出てくるのが考えられますので、出来るだけ早めに進めていただくということですね。

それでは、今いただいたようなご意見も踏まえて策定スケジュールをこういった形で進めていくということでもよろしいかというところをご審議いただきたいと思います。ご了承いただける方は挙手をお願いいたします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。全会一致で賛成いただけたということで、スケジュールに沿って事務局の方で作業を進めていただきたいと思います。それでは、議事としては以上となりますので、5.その他については事務局にお話いただきます。

(司会) 山崎会長ありがとうございます。それでは、5.その他について事務局より説明させていただきます。

## 5.その他

(事務局) 【参考資料1に基づき説明】

(司会) ただいまの説明について、ご意見・ご質問はありませんか。

(委員) とても良いことだと思います。26枚目のスライドを見ると愛知県においても、路線バスだけではなく、行政が運行するコミュニティバスも多く登録されていますよね。中でも、無料の刈谷市の公共施設連絡バスもナビタイムの検索対象となっていることに驚きました。例えば、市外の人が図書館に行こうと思ったときに、こういったアプリでバスの情報が分かるので利用促進に繋がっていくと思います。

(司会) ありがとうございます。他にご意見・ご質問はよろしかったでしょうか。

(市長) バスのターミナルや遅延の具合、表示板などについては、知立駅の開発整備を進めていまして、併せて検討させていただきたいと思います。知立駅のコンセプトとして、プロジェクトの皆様から発表させていただきました。「現代版宿場町」というコンセプトで進めています。まさしく知立は宿場町として発展をして参りました。知立駅は鉄道の結節点であります。鉄道だけではなく、バスも三河の中では中心駅として発展させていきたいという思いもあります。現在でも企業バス、学校バス、病院バス、観光バス、路線バス、コミュニティバスと多くのバスが知立駅前を発着としています。そこをしっかりと整備していくことによって、交流人口も増えてくる、経済効果も出てくると考えていますので、バスのターミナルについては周辺市町村、先進地を参考にしながら、またこの公共交通会議にてご意見をいただきながら、「現代版宿場町」に向けて整備して参りたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(司会) 他にご意見・ご質問はよろしかったでしょうか。今回報告させていただきましたナビタイムのようなシステムは非常に便利だと思っています。今後も他のアプリへの登録も検討していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。それでは本日の知立市総合公共交通会議は以上で終了となります。次回の会議は予定では8月ということでお示ししましたが、先ほどのご意見や策定状況も踏まえまして、早めさせていただくことも考えていますので、よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。